

平成27年4月12日執行
鳥取県議会議員選挙

選挙公報(鳥取市選挙区)

鳥取県選挙管理委員会



木村

かずひさ

11人の子供達を
育ててきました



＜実現目標＞

1. 差別・格差の無い社会
2. 持続可能な社会
3. 教育・保育など子育て支援
4. 力のある農林水産業
5. 中小零細企業の体力強化
6. 地域との本当の協働

「話す」と云う基本」を
しっかりとやって行きます。

話さなければ分かりません。民意を掴むのは「一人ひとり」と話す事が基本です。皆様のものと出かれます。まず、話しましょう。

「説明責任」を果して行きます。

政治に携わる者として、説明責任は不可欠です。その前提が信頼へと続きます。

「そうだな」を共有します

話す事・聞く事で。沢山の「そうだな」を共有出来れば、おのずと次の行動が生まれます。

「改善」を一緒にやりましょう

あとは動くだけです。とにかくやってみる、次のハードルがまた立つでしょう。とにかく次々と越える。これを皆でやりませんか、必ず見えてくる筈です。私達の「ゴール」が...

「地方」から促していく

私達のフィールドは鳥取です。鳥取の職場と云う「現場」、家庭と云う「現場」、地域と云う「現場」を知っているのは、私達生活者です。政治は私達の為にあるのです。私達の望む姿に政治を変えていく。地方に住む私達こそ、はっきりと声を挙げべきです。

必ず「信頼」を取り戻します

多くの有権者が投票へ行かない。政治に「無関心」であるとしても、誰一人「無関係」ではない。政治は政治です。決して諦めてはいけません。未来を左右する力を私達は持っているのです。

心、繋がります。

全国に誇れる地方創生の
モデルとなる鳥取県を目指します。



自民党公認
はまさき
浜崎
しんいち

浜崎しんいち(晋一) プロフィール

1954年 12月17日生まれ、鳥取県立鳥取西高等学校在学中は陸上部に所属
1978年 成城大学経済学部経営学科卒

議会・政党活動

2007年 鳥取県議会議員初当選 現在2期目
県会自民党副幹事長、自民党鳥取県連幹事副会長 兼 財務委員長
総務教育常任委員長、産業振興特別委員会副委員長、
自民党県連副幹事長、財務副委員長、組織副委員長を歴任

その他役職

鳥取県肢体不自由児者父母の会連合会会長
鳥取陸上競技協会副会長、鳥取県東部陸上競技協会会長
鳥取市陸上競技協会会長
鳥取県車椅子バスケットボール協会会長
鳥取県高等学校定時制通信制教育振興会会長
鳥取市社会福祉協議会理事、若草学園後援会会長
醇風地区体育会会長

誰もが **安心** して共に暮らせる
鳥取県づくり

- あいサポート運動推進による障がい児者に優しい地域づくり
- 高齢者をはじめとする誰もが安心して共に暮らせる地域づくり
- 地域包括ケアの充実
- 地域防災力の強化・充実
- 特別支援教育の充実

まちなか **活力** あふれる
鳥取県づくり

- 地域コミュニティの活性化
- まちなかの賑わいの創出
～まちなかのリノベーション～
- 中山間地域の活性化
- 6次産業化の推進など元気な農林水産業の振興
- 地域資源を生かした産業振興
- スポーツを通じた観光・地域振興

一人ひとりが **希望** と **誇り** を持てる
鳥取県づくり

- 豊かな心を持った人づくり教育の振興
- 陸上競技などの競技力向上と、スポーツを楽しむことができる環境整備
- 女性や若者が活躍する場(フィールド)づくり
- 子育て王国鳥取県の推進
- IJUターンの推進

今こそ、最少最強の鳥取県を!!



無所属・自民党推薦
有松
かずのり

長引くデフレ社会は国から地方へと、いまだに深刻な波紋を投げかけています。それは経済、産業、雇用の場ばかりではありません。今こそ、鳥取県の誇れる魅力、財産を国の内外に発信し、どう売り込むかによって「最少最強の鳥取県」が見えてくると信じます。それは教育であり、医療、福祉、介護環境であり、農林水産業であり、観光であり、突き詰めればそれらを支えている「人財」だと考えます。

私たちの財産である「有能な人材」をどう育て、売り込んでいくかが未来の鳥取県を築く鍵です。

地方分権がもたらす
都道府県の役どころは

●国から県へ、県から基礎自治体への権限委譲からみる県政の方向は

●道州制の功罪、地域、広域連携のあり方は

●中核市を目指す鳥取市と県の今後の関係は

●地域間競争に打ち勝つ為に

●国をリードする教育環境への挑戦

●医療、福祉、介護施策の充実による安心な生活環境づくり

●子育て王国の充実強化

●超高齢を見据えた社会参加への環境づくり

●県独自の観光振興策の創造

●バランスの取れた公共交通網の整備促進

●企業活動のグローバル化支援の充実

●農林水産業の6次化へのプロセスの充実

●オンリーワン企業の育成、支援

●鳥取県を支える人材育成の推進強化

1954年 10月22日生まれ
1970年 邑法第一中学校卒業
1973年 八頭高等学校卒業
1977年 中京大学卒業
1999年 国府町議会議員初当選
2003年 国府町議会議長
2004年 鳥取市議会議員初当選
2005年 自民党県連青年局長
2006年 鳥取市議会総務企画委員長
2009年 東部広域 総務企画委員長
現在 自民党県連党紀委員ほか

“鳥取のサムライ” 谷村に力を!



鳥取県議会議員候補
保守系無所属 減税日本 推薦
たにむら
谷村
ゆうたか
(36歳)

「ごあいさつ」
四年前に県議に初当選させていただき、地元や支援者のみなさまの声に応え活動する場を与えていただいたことに心から感謝申し上げます。

このたび二期目を目指し、地元や本市、本県の発展に尽くすとともに間違ったことに対しては言うべきことは言う勇氣と覚悟を持って戦う覚悟でございます。

何卒ご支援、ご声援を賜りますようお願い申し上げます。

谷村 悠介

谷村ゆうすけの重点政策
一 山陰の中心都市鳥取市の経済発展に関わります。

二 産業振興と雇用拡大に重心を置きます。

三 教育・福祉を最優先にします。

四 社会正義を守るために、たたかいます。

税金の無駄づかいを減らすよう働きかけます。
(まんが王国事業、海外交流事業「アシアナ航空への補助金等」の縮小等)
弱い者いじめは許さない鳥取のサムライの精神を貫きます。

※谷村ゆうすけの政治公約の全文は谷村悠介「七箇条」としてホームページに掲載されます。

【保守の論客、鳥取のサムライ】谷村ゆうすけの略歴
昭和53年8月13日、鳥取市(茶屋)生まれ
※谷村家は江戸時代鳥取藩士でしたが、政治家とは無縁の家系に生まれる
美保南小、鳥取南中卒業、鳥取西高卒業(平成9年)
日本大学中退 東海大学卒業(平成14年)
平成14年10月 参院補欠選挙で藤井省三候補を応援する
平成23年 4月 鳥取県議会議員選挙で初当選
平成23年11月 大阪ダブル選において大阪市長橋下徹、府知事松井一郎両候補を応援する
平成25年 4月 名古屋市長選で河村たかし候補を応援する
現在、美保南まちづくり協議会青年会会長
日本会議鳥取県本部参与

【谷村ゆうすけのプロフィール】
【家族】 自分、父(元教員、東部地区壮年野球連盟事務局長)、母(佐治町出身)、弟
【趣味】 政治、建築、美術鑑賞、読書など
【専門】 日本史(歴史(日本史)検定1級)
建築(日本建築史専攻、元住宅会社員)

根性も知恵もあります。弱い者いじめには屈しない。 詳しくは 谷村ゆうすけ 検索 谷村ゆうすけホームページ http://www.tanimura-y.com

平成27年4月12日執行
鳥取県議会議員選挙

選挙公報(鳥取市選挙区)

鳥取県選挙管理委員会

若者や子どもたちが夢を持てる社会の実現

日本の、そして“とっとり”の未来を担う若者や子どもたちが、夢と希望を持てる社会を、また、子どもを安心して産み育てることのできる社会を創っていくことが、私たちの“とっとり”はもちろん日本の持続的発展に欠かせません。

子ども・若者育成支援に関する施策は、教育、福祉、保健、医療、矯正、更生保護、雇用を始めとして社会のほぼあらゆる分野にわたります。

島谷りゅうじは、この問題に、全力で取り組みます。

真の福祉社会の実現

障がいのある人や高齢者、子どもなど社会的、経済的に弱い立場の方々の切実な声をお聴きし、県政の場にしっかり届けていきます。

そして、真の福祉社会と言えるような、すべての人が安心して生きがいをもって暮らせる心豊かな“とっとり”の実現をめざします。

島谷りゅうじ 4つの約束

都市基盤・機能の整備充実による圏域の発展

鳥取自動車道、山陰近畿自動車道、鳥取西道路などの地域を結ぶ高速道路ネットワークの早期整備、フリーゲージ・トレインの導入・電化による鉄道高速化の早期実現や海外や国内他都市への窓口である鳥取港、鳥取空港の高度利用を進めるなど都市基盤・機能の一層の整備充実を図り、“とっとり”圏域の発展を目指します。

産業の振興と雇用の創出

“とっとり”の地域特性を活かした農林水産業、ものづくり産業や観光産業などの振興に力を入れるとともに、成長産業や6次産業化、海外との経済観光交流、若者のチャレンジなどの積極的な取り組みを支援することで、元気な地域産業、雇用の安定確保・拡大・創出につなげ、安心して豊かな生活ができ、活気に満ち溢れた“とっとり”を創ります。

輝きつづける「ふるさと鳥取」に!!

島谷龍司が県政を変えます

とっとり創生の心

いまだに



しまたに
島谷りゅうじ

～略歴～

昭和34年4月14日生まれ(55歳)
昭和47年 賀露小学校 卒業
昭和50年 湖東中学校 卒業
昭和53年 鳥取東高等学校 卒業
昭和57年 神戸大学経営学部 卒業
昭和57年 鳥取市役所 勤務
平成22年 鳥取市役所退職(協働推進課長)
平成22年 鳥取市議会議員 当選

ぎんなんは 住んでよかった鳥取、住みたくなる鳥取を目指します!



ぎんなん 略歴

昭和30年生まれ 鳥取市桂木在住 59歳
昭和46年 鳥取大学附属中学校卒
昭和49年 県立鳥取西高等学校卒
昭和56年 慶應義塾大学工学部卒
昭和56年 日本チバガイギー(株)入社
昭和61年 キンキ製造(株)入社
平成10年 鳥取市議会議員 初当選
平成15年 鳥取県議会議員 初当選(現在3期)
桜ヶ丘中学校元PTA会長
鳥取若桜会総務部長

- ① 住み続けるための産業振興と雇用の確保
- ② 生み育てやすい環境整備と働きやすい環境の充実
- ③ 教育の環境整備と充実
- ④ 医療・介護環境の充実と障がい者福祉の充実
- ⑤ 元気で生き生き暮らせる高齢者対策の充実
- ⑥ 自然環境の保全と観光の振興
- ⑦ 安全・安心のまちづくり



※公明党公認
ぎんなん
やすとし 泰利



自由民主党推薦

中西
てるのり

鳥取市岩倉 271
昭和28年12月10日生

行動力と実績で県政の新時代を切り拓きます!! 今こそ新風を。

鳥取県発展のため4つの約束を実行します

1 就業の場と雇用の創造

- ・企業誘致・地域産業への支援で雇用の確保
- ・地域産業支援
- ・観光振興
- ・企業誘致
- ・交通基盤整備

2 暮らしに安全と安心

- ・高齢者や子どもたちに住みよい県づくり
- ・歩道の整備、街路灯設置
- ・防災
- ・災害に強いまちづくり
- ・充実した連絡網↓助け合い制度

3 郷土愛ある教育と誇り

鳥取県人としての誇りが持てる人づくり

4 賑わいと活力ある地域

県民誰もが自然に挨拶ができる環境づくり

- ・地域づくりへの女性参画促進
- ・スポーツ交流、スポーツ振興
- ・県政に民間企業色をより濃く!
- ・魅力ある農業、儲かる農業創造
- ・心と心のネットワークをたいせつに。まっすぐに4つの約束をやり遂げます。



自由民主党公認
ふじなわ
喜和

地方創生の実現に全力投球!!

愛するふるさと鳥取のため

県政の発展に全力投球!!



- 自然災害から県民の皆様の命と財産を守る体制の強化。
- 地元中小企業の育成で雇用拡大。
- 農業・水産業の6次産業化の促進と拡大。
- 山陰自動車道と山陰近畿自動車道の早期完成。
[鳥取豊岡宮津道路]

教育はすべての原点!!

- 子育て支援と青少年健全育成に多くの実績。
- 子どもさんやお孫さんの未来のために全力投球。

地方創生の切り札として
ジオパークを活用!!

- 平成26年9月23日 山陰海岸ジオパークが世界ジオパークに再認定。
[山陰海岸ジオパーク推進三府県議員の会長として尽力]

●景観を保全し、観光振興と教育・研究に活用。

21世紀
県政のキーワードは

K

これからも「しなやかな感性」と「ゆるぎない信念」で行動します。

教育 Kyouiku
経済 Keizai
環境 Kankyou
観光 Kankou
健康 Kenkou

●プロフィール

昭和26年9月20日生まれ S.45鳥取県立鳥取西高等学校卒業 S.51青山学院大学法学部卒業・鳥取県東部広域行政管理組合事務局勤務 H.10鳥取市議会議員選挙で初当選 H.15鳥取県議会議員選挙で初当選 H.19鳥取県議会教育民生常任委員会委員長に就任 H.23鳥取県議会議員選挙で三期目の当選・鳥取県議会 企画県土警察常任委員会委員長に就任

●これまでの役職

鳥取市立湖山西小学校PTA会長 鳥取市小学校PTA連合会会長 鳥取県PTA協議会会長 自民党県連政調会長・県議会自民党政調会長 山陰海岸ジオパーク推進三府県議員の会長 鳥取県議会スポーツ振興議員連盟幹事長 青少年育成鳥取市民会議会長 鳥取市子ども会連合会会長 (一財)鳥取県水泳連盟名誉会長 鳥取県バスケットボール協会会長 湖山西自治会顧問等

、現在は会派希望政調会長、広報委員長。農林水産

平成27年4月12日執行
鳥取県議会議員選挙

選挙公報(鳥取市選挙区)

鳥取県選挙管理委員会

中小企業金融の充実と地域金融の機能強化を図り、
資金調達に万全を期します

産業振興

大学を「地(知)の拠点」としての人財育成。
産官学連携による新技術の研究開発。雇用の場を創出します

正規雇用への転換を果敢に進めるとともに、
若者の就労支援を強力に推進します

雇用創出

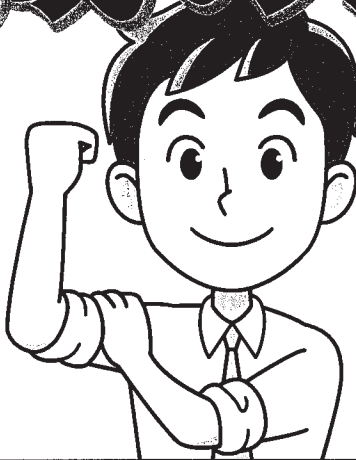
創業準備から事業継承までの各段階における支援の充実を強化。
新たな事業の担い手を応援します

働く意欲のある高齢者の方々が
生涯現役として働きやすい環境を整えます

防災

ハードとソフトを組み合わせ、
計画的に「災害に強いまちづくり」を進めます

平成の力!!



平成元年生まれ **25歳**

1989年(平成元年)7月19日 鳥取市にて出生
2002年 鳥取市立美保小学校卒
2005年 鳥取大学附属中学校卒
2008年 鳥取県立鳥取西高等学校卒
2008年 慶応義塾大学法学部入学
2010年 慶応義塾大学法学部中退
鳥取生まれ、鳥取育ち!

慣習にとらわれない柔軟な発想とバイタリティーで
「安住の地であり続ける鳥取」を目指します

介護福祉

障がいのある人もない人も、
誰もが個性と人格を尊重できる社会を目指します

議会改革

議員定数・報酬の削減を実現します

子育て支援

結婚・妊娠・出産・子育ての全ての段階において
切れ目のない支援を推進します

仕事と家庭の両立支援を推進し、
ワーク・ライフ・バランスを実現できるようにします

農林水産業

力強い農林水産業の確立に向けて、
所得増大、担い手対策を実行します



西尾
こうじ

【無所属】

変えよう鳥取 情熱と実績の40歳

山根康徳プロフィール

昭和49年生(鳥取市) 40歳
鳥取市立日進小学校卒業
鳥取市立南中学校卒業
鳥取県立岩美高等学校卒業

現在の役職

太陽商事株式会社 専務取締役

青年会議所(JC)での経歴

平成10年 鳥取青年会議所に入会
平成23年 理事長
平成25年 日本JC中国地区鳥取ブロック協議会会長
平成26年 日本JC中国地区協議会 会長

主な役職

第11回鳥取三十三万石お城まつり実行委員会
副会長
エンジン01オープンカレッジin鳥取実行委員会
副実行委員長

**地域力・防災力を高め
安心・安全なまち**
◆安全と安心、強固な防災ネットワーク
を構築します。
◆地域のつながりを密に密にして、子育て支
援と高齢者に安心なまちを創ります。

日本一の福祉と観光のまち
◆福祉・医療のまちづくりを進め「日本一」
の福祉都市を実現させます。
◆山陰道の早期開通に向けた整備の推
進と新たな魅力ある「日本一」の観光地
づくりを進めます。

**地域づくり。人づくりで、
活力ある住み良いまち**
◆中心市街地の賑わいを取り戻すため、
城下町の魅力と民間投資を活かして
居住者の増加と充実した商業集積の
まちを実現します。
◆魅力ある中山間地域となるために、農
林水産業の活性化を促進します。
◆世界に通用する若手経営者を創出す
るために、若者を支援します。

地域再興のための政策
◆中心市街地の賑わいを取り戻すため、
城下町の魅力と民間投資を活かして
居住者の増加と充実した商業集積の
まちを実現します。
◆魅力ある中山間地域となるために、農
林水産業の活性化を促進します。
◆世界に通用する若手経営者を創出す
るために、若者を支援します。

市民の目線で 有言実行
少子化による人口減少や高齢化社会による生活の不
安など先送り出来ない問題が山積みです。こうした問
題を解決するためには、県民が「丸」となり地域の特色を
活かした「地方創生策」が求められています。



山根
やすほ

●鳥取を地方創生のさきがけに● **傾聴対話 共通理解 迅速実践**

夢と希望を
次世代につなぐ

鳥取創生の実現に向けて!

私は22年間の議会経験を生かし「豊かな自然と人材」を甦らせる「地方創生」を目指します。

01 人口減少・少子高齢化対策

- 子どもを生育しやすい環境の推進
- 中山間地域の活性化支援

02 産業振興・雇用創出の促進

- 積極的な企業誘致と地場産業の支援
- 農林水産業の6次産業化・農商工連携の推進
- 地域資源を活用した新産業の創出
- 高齢者、障がい者の雇用の創出・働く女性への支援

03 明日を築く人材の育成

- 未来への飛躍を実現する人材の育成
- 教育環境の充実・人権意識の高いまちづくり

04 安全安心に暮らせる「まちづくり」

- 自然災害に強い県民の命と暮らしを守るまちづくり

05 健全な行財政改革への取り組み

- 健全財政への取り組み強化・積極的な情報公開

湯口ふみあき プロフィール

昭和32年6月6日生 57歳
昭和45年 浜村小学校卒業
昭和48年 気高中学校卒業
昭和51年 県立鳥取東高等学校卒業
昭和55年 東洋大学工学部卒業
平成4年 気高町議会議員(4期)
平成15年 気高町議会議員就任
平成16年 鳥取市議会議員(3期)
平成24年 鳥取市議会議員就任

座右の銘
信なくば
立たず



湯口
ふみあき

市民のくらし、政治のあり方が問われる大事
な選択―あなたの力で、市民の願いをまっすぐ
届ける市谷とも子再び押し上げてください。

- 議員の海外視察は中止。
- 見通しのないマンガ事業やDBSへの支援は抜本見直し。
- ためこんだ基金889億円の一部をくらしに活用。

ムダや不要不急の事業を見直します

**⑤米価暴落から農家を守り、TPP参
加撤回を。「農協解体」に反対します。**

④ブラック企業から若者を守ります
●県独自のブラック企業・ブラックバイトの規制条
例を。

③中小業者を元気に

- 住宅・商店リフォーム助成制度を。
- 地元業者に優先発注する「小規模工事登録制
度」を。

②医療・介護の安心を

- 国保料引き下げへ県の支援を。
- 介護保険の負担軽減、特養ホーム
の建設、透析患者の通院費助成。
- 医療費は高校卒業まで無料に。
- 大学生になったら…給付制の奨学金制度。
- 生まれたら…保育料は第一子から負担軽減。
- 高校にいたら…高校通学費の補助。
- 大学生になったら…給付制の奨学金制度。

**①めざします―
イキイキ子育て「4大サポート」**

若者を戦場に送らない
くらし最優先の一票は
トコトンがんばる
市谷とも子へ

「消費税が上がって、本当に苦しくなった」
「安倍さんは「ワイ」子どもたちを戦争にいか
せたくない」。どこでも聞かれる言葉です。
今度の県議選は、くらしと平和をこわす
安倍内閣にノーの意思を示し、政治の流れ
を変えていく大きなチャンスです。
「憲法が生きてる政治」くらし最
優先の県政をこいつしよにつくり
ましょう。



市谷
とも子

市谷とも子

検索

1968年生まれ／鳥取西中、鳥取西高、鳥
取大学教育学部養護学校教員課程卒／
教員、病院勤務ののち、日本共産党に勤務
／党中央委員、県副委員長。県議2期。

平成27年4月12日執行
鳥取県議会議員選挙

選挙公報(鳥取市選挙区)

鳥取県選挙管理委員会

地方創生により、新たな鳥取県を創造し、「鳥取新時代」を創ります

- 一、地方が競争でき、地方の独自性を発揮できる環境づくりを行います
- 二、人口減少社会を克服するため、子どもを産み育て、地域に定住できる魅力ある環境づくりを行います
- 三、交流人口の拡大を図り、移住定住を進めます
- 四、多極分散型社会を実現するため、高速道路網の整備(山陰自動車道貫通)、鉄道の高速度化(JR因美線・智頭線のフリーゲージ化)による東京・鳥取間の直通化、航空路線の拡充を図ります
- 五、国際交流の拡大を図るとともに、観光や人材育成面において、国際化への対応を進め、地域の活性化を図ります
- 六、若者の人材育成を図るとともに、地域産業の育成、中小企業の基盤づくり、企業誘致を進め、地域に若者が定着できる環境づくりを行います
- 七、国際競争時代において、農家が自立できるような、農畜産物等のブランド化など、所得の向上に資する農政改革を行うとともに、大規模化できない中山間地域の農林業、農道・林道・用水路等の維持管理への対応を進め、従来型の兼業農家で生活ができる環境づくりに努めます
- 八、水産業を生業にできる環境づくりを行います
- 九、農林畜水産業の後継者・担い手育成を進めます
- 十、子どもたちの個性や豊かな心を育む教育環境づくりを行います
- 十一、高齢者が暮らしやすい安全・安心な社会づくりを進めます
- 十二、高齢者や若者などのあらゆる世代がお互いに支え合い、調和のとれた地域社会づくりを進めます
- 十三、県外に出た若者のふるさと帰帰を進めます
- 十四、中山間地域の過疎だけでなく、新過疎(まちなか過疎)への対応を進めます



やまぐち
山口 享
すすむ

・地方自治の原点に立ち帰ることが地方創生である。
・地方に権限と財源を与え、自主自立の地域社会を創ることが地方創生である。
・全国画一化行政から転換し、自ら地域を創っていくことが地方創生である。



福本
りゅうへい

鳥取をあきらめない

次点落選以来四年、千四百日余り初心に立ち戻り街々をくまなく巡り、この街の現状をつぶさに見て参りました。そこには、現実の生活の中で日々を必死に生きる皆さんの姿がありました。時に働き場がなくやむなく故郷を離れる若者たち。薄給でしのぎながら一人で子供を養う若い女性たち。日々の暮らしながら、年金で細々と暮らすお年寄り。数十年前のローンを抱え、夫婦で必死に働く子育て世代の人々。図らずも事業に失敗し、全体的に失い、日々の生活をバイトでつなぐ事業経営者。思った以上にこの街は困難にあふれています。ピラミッドのある世界で生きている以上、優勝劣敗は世の常ではあります。しかし弱きものに機能する政治を持つ社会こそ、真に成熟した社会と呼ぶのであります。果たしてこの鳥取は真の成熟社会でありましようか？ 下がり続ける選挙投票率は、政治をあきらめた人々を示す逆バロメーターです。一敗地にまみれどん底を味わったからこそ、分った人々の痛みがあります。決して強くない多くの人々が、自分をあきらめないで、自らの環境に失望しないで、前を向いてさわやかに生きるような、そんな安らぎと希望とチャンスに満ちた鳥取を築きたいと思ひます。自らと鳥取をあきらめないで下さい。

【一】弱者支援・経済対策

消費税増税は確かに庶民には大きな痛手です。又、地方経済において消費の低迷を誘引しています。目下の状況を克服するため、一定期間内に使用しないと減価する地域通貨を発行。生活弱者へ給付し流通させる事で、県内消費を活性化させます。

【二】教育・子育て支援対策

あすの鳥取や日本を支える子供は社会の宝。核家族化が進む現在、子育てや家庭教育は親だけで行うのではなく、企業や職場、学校や地域が無理なく子育てや家庭教育を応援できる社会環境が必要で、地域や企業、医療機関、学校と連携しながら、病児保育の拡充を図ります。

【三】地元企業の育成と支援対策

地域で踏ん張る地元企業が元氣になってこそ地域に活力が戻ります。急激な円安や目下の経営環境に苦しむ中小企業に、融資実行が早くかつ条件の軽い融資制度を拡充します。又、失敗した事業経営者でも復活できるように、事業計画によっては無担保で受けられる制度融資を提言します。

【四】地域資源の発信と文化芸術振興

吉田璋也の残した民芸運動は貴重な地域資源。陶芸、木工、和紙等手作りに従事する人の環境を応援し、全国からクラフトに集う人々を引き寄せ鳥取県をクラフトの聖地にします。本物の文化芸術を県内に導き、県民が高い文化芸術に日常的に触れる事で、真の豊かさを享受できるように文化芸術を振興します。

【五】地方からこの国の国柄を護る

自国を愛する心や自国の文化伝統を大切にすることは世界の人々の普遍的価値。グローバル化の中にあってこの国を見失わないように、地方からこの国の国柄を護る県民意識の高揚を図り、美しい日本を次世代につなぎます。

教育王国をめざして「人づくりはまちづくり」



福本
たかひろ
49歳

ストップ！若者流出・限界集落

- ・県民対象アイデアコンテストの創設
- ・中堅研修等支援による地場産業底上げ
- ・マーケティング強化による農水産物の販売促進
- ・中山間地域に見合う生産物選定の支援
- ・鳥取県出身の若者からの提言を活かす仕組みづくり

福祉・健康対策の充実・促進

- ・子どもの貧困対策の推進
- ・障がい者の一般就労への企業啓発強化
- ・不妊治療の助成強化
- ・在宅介護に対する関係機関の連携推進
- ・「食育」の推進で健康増進

情報公開の促進

- ・県民に開かれた県政の推進

福本 たかひろの重点政策

教育・子育ての充実・強化

- ・“人間力”を高める教育の構築
- ・ふるさと教育の推進による人材育成
- ・いじめ防止、不登校対策の充実
- ・教員の過重労働の解消と指導力の向上
- ・特別支援教育、フリースクール支援の強化
- ・女性が活躍できる社会、環境づくりの支援
- ・放課後児童クラブ、病児病後保育の充実

HOT!で
ほっと♥な鳥取を

福本 たかひろ プロフィール

1966年 鳥取県浜田市生まれ(49歳)
1988年 鳥根大学教育学部 卒業
日本海テレビ入社
ニュースキャスター・報道記者

校庭の芝生化に自らも取り組み
普及キャンペーン報道が
ギャラクシー大賞を受賞

2012年 報道部長に就任
2014年 鳥取市長選出馬

地域活動

- ・県教育審議会元委員
- ・中ノ郷小・中学校元 PTA 会長
- ・中ノ郷ふるさとづくり協議会副会長
- ・あいサポートメッセンジャー

情熱、誠実、現場主義！

前田やすひこが取り組む重点課題



自由民主党公認
前田
やすひこ

1 鳥取県の未来を信じ、未来に羽ばたくための県政の基盤づくりに努めます。

鳥取県の地域の発展や県経済の振興のために県内高速道路網の整備の早期完成や、安心安全な県民生活の実現のため医師、看護師・介護士の確保をしなければなりません。また、子育て王国鳥取県をめざすため保育制度の充実とともに、働くお母さんへの支援も必要です。

更に、教育は子ども達の未来への投資であり、子ども達の学力を伸ばせる教育環境づくりに私は積極的に努めていきます。

2 今、何よりも急ぐ、
県民の働く場の確保に努めます。

鳥取県の人口は年々減少しており、20才、29才の若者の多くが県外へ流出しています。その原因は、郷土で生活したくても、働く場がないためです。景気は上向いて採用も活発に行われていると言われていますが、地元企業では明るさは見えたといえ、まだまだ状況です。

国・県・市町村の役割は大きくなっています。企業活動を活発にさせるための資金の貸付や市場開拓の支援、企業誘致を進めるとともに地元で働くための人材育成を行う必要があります。県民の総力をあげて雇用の場を確保できるような環境づくりや制度づくりに全力をあげます。

3 議員の役割、それは何よりも県民の声を行政に反映させることです。
私は、現場主義に努めます。

行政は、知事を筆頭とする執行部だけで行うものではありません。知事と車の両輪の一方を担う議会の力を結集してこそ、地方自治は円滑に進められます。私は、普段から県民の中に入り、県民の声を聞き、行政に足らないこと改善すべきこと等を指摘し、県民が主役の県政にしていこうこそ議員の本務だと思っています。

私は12年間現場主義に徹し、県民の声を現場で伝えて県政に反映させてきました。現場主義こそ私の政治の原点であり、更に全うしたいと思っています。

私の政治信条

私は現場主義を政治活動の土台とし、県民皆さんの声を大切に、県政と県民のパイプ役を自認しながら、人を中心に、安全で活気あるまちづくりを政治信条として活動したいと思っております。

平成27年4月12日執行
鳥取県議会議員選挙

選挙公報(鳥取市選挙区)

鳥取県選挙管理委員会



中島
のりお

決断と実行

《三つの信条》

1 回復感のない
鳥取の景気と雇用問題

2 安心して生み
育てられる子育て支援

3 高齢者・障がい者が
安心して暮らせる
少子高齢化への対応

人口減少問題は、これから益々、私
たちの生活に影響を及ぼします。

安定した収入を得られる働き場がな
ければ、生活は苦しくなるばかりです。

企業誘致を急ぐあまり、計画に無理
があり、失敗例も顕著となっています。

地元企業、地元産業を、もう一度見
直す時期と考えます。

また、五年も続けて成果の見られない
事業の廃止、見直しは、当然と考えます。

これら、あらゆる努力をし、バランス
よく暮らせる地域社会をつくるため、

懸命に働きます。

皆様のご支援をこころより願います。

鳥取県議会議員選挙

投票日 4月12日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

(ただし、一部の地域では、投票所の閉鎖時刻を)
繰り上げるところもありますのでご注意ください。)

県内市町村の選挙人名簿に登録されている方が、県内の他市町村に住所
を移しても、市町村が発行する「引き続き鳥取県の区域内に住所を有す
る旨の証明書」を提示することで、投票することができます。

投票に関してご不明な点は、お近くの市町村選挙管理委員会へお問い合わせください。